

今月のおすすめ図書

◆一般図書

料理大好き小学生がフランスの台所で教わったこと

ケイタ／著 自然食通信社



小学生のケイタくんが、フランス料理にあこがれ、本場の家庭料理を学びに行く体験記。やってみたくてにまっすぐな気持ち伝わりやすい。

世界一くさい食べもの



小泉武夫／著 筑摩書房

一体どんな匂いなんだ！？気になる食べもの盛りだくさん！くさい食べもの歴史や著者の体験エピソードもおもしろい、あっという間の一冊です。

♥児童図書

おばけのゆきだるま

ジャック・デュケノワ／さく
おおさわあきら／やく ほるぶ出版



雪がふったある日、おばけたちが大きな雪だるまをつくって遊んでいると…。なかよしおばけの楽しい冬のおはなしです。

けんだましょうぶ



にしひらあかね／著 福音館書店
けいくんの勝負の相手は、きつねに、たぬきに、まじょに、てんぐ！ヘンテコなけん玉で繰り広げられる、おかしな4連戦♪ユーモアたっぷりの絵童話です。

ぶらり らいぶらり

米子市立図書館からのお知らせ

米子市立図書館 (☎ 22-2612 FAX 22-2637)

開館時間 平日：午前9時～午後7時

土・日・祝日：午前10時～午後6時

今月の休館日 月曜日、28日(木)～1月3日(水)

「健康寿命延伸プロジェクトのご紹介～健康でイキイキと長生きするために～」講演会

令和5年度鳥取大学医学図書館・米子市立図書館共催講演会を開催します。健康寿命延伸プロジェクトについて、鳥取県の現状と取り組みなどをお話ししていただきます。

- ▶と き 12月17日(日) 午後2時～3時30分
- ▶ところ 米子市立図書館2階 多目的研修室
- ▶演 題 健康寿命延伸プロジェクトのご紹介～健康でイキイキと長生きするために～
- ▶講 師 鳥取大学医学部・器官制御外科学講座 呼吸器・乳腺内分泌外科学分野・教授 中村 廣繁 先生
- ▶定 員 80人 (要申込・先着順・無料)
- ▶申込方法 窓口・電話・FAX (申込受付中)



健康長寿県をめざそう！

健康鳥取キャラクター とさかちゃん



今月の催し (☆印は要事前予約)

「おはなし会」

▽木曜おはなし会(ほしのぎんか・火曜の会、図書館職員)

毎週木曜日 午前10時40分

▽おはなしかご(米子おはなしかご)

16日(土) 午前10時30分

▽夕方おはなし会(職員)

12日(火) 午後4時

「各種講座」

▽つつじ読書会『百年の孤独』ガブリ

エル ガルシア・マルケス 後半(初

めての方☆) 2日(土) 午後2時

▽楽しく漢文に学ぶ会(初めての方☆)

3日(日) 午後1時30分

▽いきいき長寿音読教室(☆)

12日(火) 午後3時、13日(水) 午前10時

30分(1日(金)受付開始)

(1月の予約は1月4日(木) 受付開始)

▽鳥取大学サイエンスアカデミー

9日(土) 午前10時30分

▽古文書研究会「多比能實知久佐」ほか

23日(土) 午後1時30分

▽伯耆文化研究会「第17回鳥取県西部

地区小中学生地域研究発表会」

3日(日) 午後1時30分

「2階ギャラリー」

▽日野川フोटコンテスト入賞作品展

2020～2022 展示

11月28日(火)～15日(金)

▽引札展(広告から見る山陰地方の歴史)

10日(日)～23日(土)



米子水鳥公園の指導員（レンジャー）が
日々の活動をご紹介します！

米子水鳥公園 レンジャー通信

文・写真／米子水鳥公園統括指導員 桐原 佳介

米子水鳥公園では、さまざまな肉食の鳥が獲物を捕ります。その中でも最も採食行動が興味深いのはコサギです。コサギは、色々な技を駆使して小魚など小さな生き物を捕食します。例えば、浅瀬を歩きながら片脚を震わせて、水底から獲物を追い立てて捕る技がよく見られます。

この他にも、2022年12月1日に、コサギの興味深い「漁」を観察しました。この日、ネイチャーセンターの目の前で数羽のヘラサギが採食していたのですが、1羽のコサギがヘラサギの後を追っていることに気づき

コサギのヘラサギ漁

ました。コサギの行動を注視したところ、ヘラサギがくちばしを水に浸けながら、頭を左右に振って歩き回っている横で、頻りに獲物を捕らえて食べていました。どうやらコサギは、ヘラサギが獲物を探している時に、ヘラサギに驚いて逃げる獲物を捕らえて食べているようでした。一方ヘラサギは、コサギが付きまとい自分の周りで獲物を捕っていても気にならないようでした。

他の鳥の行動を利用して獲物を捕るコサギの賢さに、あらためて感心した出来事でした。



ネイチャーセンター前で採食するヘラサギとコサギ（右下）



ヘラサギの後をついて歩くコサギ（右）

美術館通信

コレクション企画展Ⅲ 洋画編「名品選」

コレクション企画展Ⅲ期では、東京美術学校（現・東京藝術大学）で学び、郷土の芸術文化の復興普及と向上を願い結成された「麓人会」の発起人の一人である香田勝太（1885～1946/日野郡溝口町〔現・西伯郡伯耆町〕出身）や日展審査員・評議員・参与を歴任した笹鹿彪（1901～1977/米子市出身）など丹念に調査研究を続け掘り起こしてきた郷土ゆかりの洋画家の作品や、地元の豊かな自然や風物などを題材にした作品などの名品を、選りすぐって展示します。

また同期間には、鳥取県アートミュージアム連携協議会に加盟する美術館・博物館所蔵の素描を精選して紹介する、共同企画展「DRAWING ADDICT!! ハマる素描」も開催しております。コレクション企画展とあわせてご覧ください。

▶会期 1月21日（日）～2月18日（日）〔水曜日休館〕

▶観覧料 一般 330円 団体（15人以上）270円

📍米子市美術館（☎ 34-2424）



香田勝太《猫と芍薬》制作年不詳 油彩・絹